

今回の特別講演は、日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科多摩クリニックの田村文誉先生より「小児在宅医療における食支援、口腔ケア」と題してご講演いただきました。一般演題は、医療再編の現状や入院前支援、在宅歯科診療、虐待防止等があり、医師、歯科医師、看護師、管理栄養士等さまざまな職種から多様な発表がありました。質疑応答でも活発なやり取りがあり、多職種90名の参加者で大盛況に終わることができました。参加者からは「基礎的な内容でわかりやすかった」「各病院の新たな取り組みや、患者への安心した医療やケア等、ためになる話でよかった」「全ての演題がとてもわかりやすく、とても勉強になった」という声が多く聞かれ、病院機能の向上と地域貢献に一層意欲的に取り組んでいこうと、思いを熱くしている様子うかがえました。



会場風景

本学術集会開催にあたりご協力いただきました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

第18回福井県支部学術集会

学術集会会長：福井県済生会病院産婦人科部長

福野直孝

2019年3月24日(日)、福井県済生会病院研修講堂において「医療機関における働きがいのある職場づくり～医療従事者の勤務環境の改善～」をテーマに第18回福井県支部学術集会を開催し62名の参加を頂きました。

特別講演では、働き方改革に積極的に取り組まれている福井キヤノン事務機代表取締役社長の岩瀬裕之氏とチームリーダーの鳥尾久美氏に「やりがい、働きやすさ、自ら行動しつくる」をテーマに意識改革と仕組みづくりを並行して行い、社員を支援する独自の制度を作るなどの事例をご講演いただきました。

シンポジストには医師、看護師、事務職の立場からそれぞれの医療機関での取り組みについて発表いただきました。また一般演題では医療安全や患者支援に関するシステム作りの発表があり、これらも働き方改革に通じると感じるものでした。最後に学術集会が無事終了できましたのも、関係の皆様方の多大なるご支援の賜物と感謝申し上げ、開催報告とさせていただきます。

講習会開催案内

2019年度医師事務作業補助者指導者養成講習会

テーマ：講義とワークショップによるチームマネジメント実践力の涵養

本学会では、2010年度より医師事務作業補助者の養成講習会を開催してきたところですが、学会会員の希望により今年度も、医師事務作業補助者の指導者を養成するための講習会を下記要領で開催することとなりました。本講習会は、指導者として補助者を育成し、またチームのリーダーとして必要な、書類・資料作成や、登録・統計の知識と技術、マネジメント、業務連携の手法、さらに今後の展望について、講義・演習とワークショップを通じて修得し、現場で役立つ実践力を養うことを目的としています。

全課程受講者には、修了証を交付します。実務研修のために定員が限られていますので、お早めにお申込み下さい。

なお、本講習会は医師事務作業補助者の資格取得のための講習会ではありませんので、ご注意ください。

- ・日時 2019年10月26日(土)、27日(日)、
11月30日(土)、12月1日(日)
- ・場所 日本医科大学 教育棟2階 講堂
(〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5)
- ・プログラム ※授業の順番等は変更になる場合があります。

第1クール

第1日 10月26日(土)

8:50	受付
9:20	開講式・オリエンテーション
9:30～10:30	医療の流れ
10:40～11:40	診療録管理
11:40～12:40	医師事務作業補助業務マネジメントの実際
12:40～13:30	昼食
13:30～14:30	海外における医師事務作業補助業務
14:40～17:40	ワークショップ1：教育体制と能力評価

第2日 10月27日(日)

8:20	受付
8:30～9:30	診療録の書き方
9:30～10:30	医療書類作成のポイント
10:40～11:40	個人情報保護・情報セキュリティ
11:40～12:40	統計業務、Excelの応用
12:40～13:30	昼食
13:30～14:30	疾患と臨床用語(整形外科系)
14:40～15:40	コーチング
15:40～16:40	メンタルヘルス